アジア州

名前

問1　サウジアラビアの人口構成において、2020年時点の外国人出身地域別の割合を分析すると、全体の46.8%と約半数を占めている最大の地域はどこですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 北アメリカ
2. 南アジア
3. 西ヨーロッパ
4. 東南アジア

問2　近年、急速な経済成長を遂げているインドの産業構造に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 島根県公立入試 類似）

1. 石油製品の輸出額が多いのは、国内の広大な砂漠地帯で原油が豊富に採掘されているからである。
2. かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが強く、輸出品の過半数をイギリスが占めている。
3. 世界最大のダイヤモンド鉱山を保有しており、未加工の原石をそのまま輸出する採掘業が中心である。
4. 豊富な労働力を背景に、ダイヤモンドなどの輸入した原石を加工して輸出する工業が盛んである。

問3　日本企業の海外進出に関連して、インドへ進出する日本企業の数は1985年から2013年にかけて大幅に増加しました。このように製造業を中心とした多くの企業がインドへ拠点を移す主な理由として、現地の労働環境の特色を説明したものとして適切なものを選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 日本やオーストラリアと比較して平均賃金が低く、安価な労働力を確保できるため
2. 公用語が日本語であり、現地従業員への技術指導にコストがかからないため
3. 現地の平均賃金が日本より高いため、優秀な人材を日本から派遣しやすいから
4. 労働力不足を解消するために、日本から多くの労働者を移住させる必要があるから

問4　ある国の統計資料において、日本企業の進出数が10年間で約4倍に増加した背景を分析したところ、労働環境や人口構成に大きな特徴があることがわかりました。この調査結果が示すベトナムの状況として正しい説明を選びなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 労働者の月額賃金は安価であるが、働き手となる15歳から49歳の人口割合が年々減少しており、深刻な人手不足にある。
2. 月額賃金が周辺諸国を上回るペースで上昇しており、高賃金を求めて周辺国から労働者が流入している。
3. 月額賃金が低水準であり、かつ総人口に占める15歳から49歳の層が厚いため、労働力が豊富である。
4. 総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が急増しており、介護サービス関連の日本企業が市場を独占している。

問5　日本、アメリカ、オーストラリアなど、太平洋を囲む国や地域が参加し、持続可能な経済成長と域内での協力関係を深めることを目的として1989年に発足した組織を何といいますか。（2026年 奈良県公立入試 類似）

1. ASEAN（東南アジア諸国連合）
2. APEC（アジア太平洋経済協力会議）
3. EU（欧州連合）
4. OPEC（石油輸出国機構）

問6　小麦の生産量が年間1億2000万トンを超えて世界最大級である一方で、約560万トンの輸入を行い、輸出は約56万トンにとどまっている国があります。この国の名称と、その国における小麦の主な栽培地域について述べたものとして正しいものはどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国 ― 中央平原の西側に位置するグレートプレーンズを中心に栽培されている。
2. インド ― 降水量の多い東部のガンジス川下流域を中心に栽培されている。
3. ロシア ― ウクライナ国境からシベリア南部にかけてのチェルノーゼム地帯で栽培されている。
4. 中国 ― 年降水量が1000mmに満たない北部の華北地域を中心に栽培されている。

問7　世界の主要な農産物生産国に関する統計において、米の生産量が中国、インド、インドネシア、バングラデシュに次いで世界シェアの5.5パーセントを占めて第5位であり、かつコーヒー豆の生産量がブラジルに次いで世界シェアの18.1パーセントを占め、世界第2位となっている国はどこですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

1. エチオピア
2. タイ
3. コロンビア
4. ベトナム

問8　サウジアラビアをはじめとする西アジアの産油国では、近年、石油に依存した経済からの脱却を目指し、観光業や商業の育成に力を入れています。このような「経済の多角化」を進める背景として、石油資源が持つ経済的な課題を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 石油は埋蔵量に限りがあるため将来的な枯渇が懸念されるだけでなく、国際的な価格の変動が大きいため、安定した国家収入を得ることが難しいという課題。
2. 石油は再生可能エネルギーの一種として分類されるようになったが、周辺諸国との輸出競争が激化し、販売価格が下落し続けているという課題。
3. 石油は天然ガスと比較して可採年数が100年以上と非常に長いが、精製にかかるコストが年々上昇しており、利益が減少しているという課題。
4. 石油の国際価格は長期間にわたり安定しているが、先進国での需要が急速に減少しているため、輸出量を維持できなくなっているという課題。

問9　東南アジアのタイにおいて、近年、機械類や自動車が主要な輸出項目となった背景として最も適切な説明はどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）

1. 外資系企業の工場を積極的に誘致し、輸出向けの工業化を推し進めたため
2. 魚介類の輸出を政府が全面的に禁止し、余った労働力を機械工業に投入したため
3. 天然ゴムの生産を停止し、その原材料をすべて国内のタイヤ製造のみに使用したため
4. 広大な森林資源をすべて伐採し、その跡地をすべて自動車のテストコースにしたため

問10　1990年代後半以降、中国において大豆の輸入量が急激に増加した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. 主食である米の消費が減り、その代替品として国内自給率を100%にする政策がとられたため
2. 国内での大豆の生産技術が飛躍的に向上し、加工品を海外へ輸出する量が増えたため
3. 経済発展に伴い、食肉の生産に必要な飼料や大豆油などの食用油としての需要が高まったため
4. 食生活の欧米化によりパンの消費が増え、小麦の代わりとして大豆の国内生産を制限したため

問11　インドにおけるヒンドゥー教と人々の生活や文化との関わりについて述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 16世紀にヨーロッパから伝わったキリスト教の影響により、日曜日に教会に集まりミサを行う姿が全国で見られる。
2. 一神教としての厳しい戒律を守り、一日に五回、聖地に向かって礼拝を行うことが国民の義務とされている。
3. 殺生を固く禁じる仏教の教えに基づき、全ての国民が肉や魚を一切口にしない菜食主義を貫いている。
4. 特定の開祖は存在せず、聖なる川とされるガンジス川での沐浴など、自然崇拝や伝統的な習慣が生活の中に深く根ざしている。

問12　世界の資源と産業に関する近年の動向について、鉄鉱石の輸入シェアが世界全体の約7割を占める中国の状況を説明したものとして、適切な記述を選びなさい。（2021年 京都府公立入試 類似）

1. 中国は「世界の工場」としての役割を強めており、オーストラリアやブラジルなどから大量の鉄鉱石を買い付けている。
2. 中国は国内の資源だけで自給が可能だが、他国の経済を支援するために鉄鉱石の輸入をあえて増やしている。
3. 中国の鉄鉱石輸入量は世界最大であるが、日本の輸入量と比較するとその差はわずか数パーセントにとどまっている。
4. 中国は鉄鉱石を大量に輸入する一方で、石炭や石油といったエネルギー資源については全く輸入を行っていない。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 南アジア	サウジアラビアに住む外国人の出身地域は、地理的に近く労働力供給が盛んな地域が上位を占めています。最も多いのがインドやパキスタンを含む南アジア（46.8%）であり、次いでフィリピンなどの東南アジア（19.5%）、同じアラブ圏である西アジア（18.4%）と続いています。これは、経済的な賃金格差を背景としたアジアからの労働力移動が活発であることを示しています。
問2	答え 4 豊富な労働力を背景に、ダイヤモンドなどの輸入した原石を加工して輸出する工業が盛んである。	インドの経済成長は、特定の資源に依存するのではなく、高度なITサービスや、豊富な労働力を活用した加工・製造業によって支えられています。ダイヤモンドが輸出品目の上位にあるのは、インド国内で採掘されるからではなく、海外から輸入した原石を研磨・加工して付加価値を高めてから輸出する産業が発達しているためです。
問3	答え 1 日本やオーストラリアと比較して平均賃金が低く、安価な労働力を確保できるため	製造業の企業が海外へ進出する際の重要な判断基準の一つに、生産コストの削減があります。統計データによれば、インドの平均賃金は日本やアメリカ、オーストラリアといった国々と比較して大幅に低く抑えられており、この「低賃金」という利点を求めて、多くの日本企業が現地での生産活動を拡大させています。
問4	答え 3 月額賃金が低水準であり、かつ総人口に占める15歳から49歳の層が厚いため、労働力が豊富である。	ベトナムに進出する企業の多くは、製造業などの労働集約的な産業です。そのため、企業の利益を左右する「月額賃金」の安さと、働き手となる「15歳から49歳の人口割合」の高さは、進出先を決定する際の重要な指標となります。ベトナムはこれら2つの条件を満たしており、安定した労働力の供給源として日本企業から高く評価されています。
問5	答え 2 APEC（アジア太平洋経済協力会議）	日本にとって重要な貿易相手国が多く含まれる太平洋周辺の国々が、経済的な結びつきを強めるために結成されました。東南アジアの国々のみで構成されるASEANとは異なり、北米やオセアニアを含む広範な地域が対象となっている点が特徴です。
問6	答え 4 中国 — 年降水量が1000mmに満たない北部の華北地域を中心に栽培されている。	統計に示された「生産量は多いが、輸出が極めて少なく輸入も多い」という特徴は、巨大な国内市場を持つ中国に該当します。中国では、稲作に適した温暖湿潤な南部に対し、比較的降水量が少なく畑作に適した北部の華北（黄河流域など）で小麦の栽培が盛んに行われています。なお、年降水量1000mmのライン（チンリン・ホワイ線）は、中国における稲作と畑作の境界を示す重要な指標です。
問7	答え 4 ベトナム	ベトナムは東南アジアの中でも特に農業生産力の高い国の一つです。米の生産においては、メコン川などの豊かな水資源を利用した二期作・三期作が行われており、世界有数の供給国となっています。また、コーヒー豆については、ブラジルに次ぐ世界第2位の生産量を維持しており、世界的なコーヒー供給において極めて重要な役割を果たしています。
問8	答え 1 石油は埋蔵量に限りがあるため将来的な枯渇が懸念されるだけでなく、国際的な価格の変動が大きいため、安定した国家収入を得ることが難しいという課題。	石油は化石燃料の一つであり、現在の採掘ペースでは約51年で枯渇すると推測される「可採年数」の限界があります。また、1990年代後半から2010年代にかけての価格推移を見ると、1バレルあたり20ドル以下から100ドルを超えるまで激しく上下しており、資源の輸出だけに頼る経済構造では、世界情勢の変化によって国家財政が不安定になるリスクを抱えています。そのため、持続可能な発展を目指して産業の多角化が必要とされています。
問9	答え 1 外資系企業の工場を積極的に誘致し、輸出向けの工業化を推し進めたため	タイ政府は工業団地の整備や税制面での優遇措置を行い、日本をはじめとする外国からの直接投資を促進しました。これにより、バンコク周辺を中心に自動車の組み立て工場や電子機器の製造拠点が集積しました。その結果、周辺諸国への部品供給を含めた一大工業拠点となり、機械類や自動車が経済成長を支える柱となりました。
問10	答え 3 経済発展に伴い、食肉の生産に必要な飼料や大豆油などの食用油としての需要が高まったため	中国では経済発展に伴って国民の生活水準が向上し、食生活が多様化したことで肉類の消費量が増加しました。これを受けて豚や牛などを育てるための飼料としての需要や、調理に欠かせない大豆油の原料としての需要が急増しました。国内の大豆生産量はわずかな増加にとどまっているため、不足分を補うために輸入量が急激に拡大しています。
問11	答え 4 特定の開祖は存在せず、聖なる川とされるガンジス川での沐浴など、自然崇拝や伝統的な習慣が生活の中に深く根ざしている。	ヒンドゥー教は、バラモン教とインド各地の土着の信仰が融合して発展した宗教であるため、キリスト教やイスラム教のような特定の開祖がいません。そのため、聖なる川での沐浴といった古くからの習慣が、宗教儀式であると同時に日常的な生活様式として、現代のインド社会にも強く残っています。
問12	答え 1 中国は「世界の工場」としての役割を強めており、オーストラリアやブラジルなどから大量の鉄鉱石を買い付けている。	中国は自国でも鉄鉱石を産出しますが、国内の旺盛な需要をまかなうために、質の高い鉄鉱石を産出するオーストラリアやブラジルからの輸入を急拡大させました。2017年の統計では中国の輸入割合が68.2%であるのに対し、日本は8.0%となっており、中国が世界の資源市場において極めて強い影響力を持っていることがわかります。